



発行所 三池炭鉱労組 大牟田市不知火町2番 電話 30334 編集人 古賀徳 発行年 600円 送料共

# 三項でスト権確立

## 「第4次合理化反対」そのほか

### ととのつた春闘体制 全国の労働者と共に闘おう

組合は組合員投票結果にもとづき、二十九日「第4次合理化反対」「賃金制度改善反対」「CO患者・遺族の要求獲得」をめぐりこれからの闘いにそなえ、ストライキ権を確立した。すでに炭労大会でスト権を確立している炭鉱固有化要求(大幅賃上げ要求を含む)と共に、これでの春闘で全国の労働者と組み、実力で闘う体制がととのつた。

### 有明機械落ちか 立って闘うか

#### 職場新聞は訴える

一月十三日、CO問題が「具体的な問題」の解決を後に残したまま一応の調印となると、会社は待たされたように二月一日の生産会議で、官浦館を三川へ移動、統合、坑外現場のまっせ、病院の分離などを匂わせながら、第四次合理化攻撃を開始しました。

### 谷口さんを守り抜く

#### 地裁判決、不当解雇認めず

かねて会社から不当解雇を受け、た谷口岩夫さん(四山支部所属、四山社宅居住)を、あくまで守ってゆくための仮処分申請にもとづき、裁判(福岡地裁、松村利智裁判長)は、去月二十九日の判決で、谷口さんの解雇は不当であると認め、会社はこれに不服を申し立てた。三月一日会社に対し、右の判決に従って、三月一日会社に対し、反し、懲戒解雇にあたいする」と

おねがい 組合員・家族の皆さん、どうか本誌にいろいろなご意見や要望を寄せてください。機関紙、みいけ、をもっともっとみんなのものにしてゆきましょう。

幹部を呼びつけ「有明機械の進出反対」の決議を行ないました。「CO患者・遺族が三川鉱の鉱長に抗議に押しかけたとき、ピケに動員され、協力させられた結果が有明機械落ちか、坑内さがりでは立っ頼がない」というわけです。三川鉱の坑内火災からまだわずかな期間しかたたないのに、四山

### CO守る会の具体化へ

#### はげしさ加わる攻撃のなか

組合は当面するCO患者・遺族を守る会、全国の組織化の問題をまず足もとから具体化する。このため、まず組合員に決起を求め、校区ごとに、校区ごとのCO患者・遺族の会の活動を、社会党、社青同、大牟田・荒尾の両地評及び傘下組合との交流を積極化し、それぞれ地域の要求を具体的に押し起し、校区連協の組織化を援助する。



写真は2・25物価メーデー

谷口さんに関する裁判のことも、この春闘もいままらというときのことで、ひときりわかしゅ

や三川の坑底ではベルトコンベアが燃え出す、不発のダイナマイトや雷管が発見されるなど、恐ろしい事態が出ています。まさに三十八年の大爆発時にもはるかに増して、危険な状態となつています。それなのに会社の保安上の態度は「フアッショイ」で、ひとことめには「保員の指示に従え。さもなくば期間満了したたないのに、四山

### CO守る会の具体化へ

#### はげしさ加わる攻撃のなか

組合は当面するCO患者・遺族を守る会、全国の組織化の問題をまず足もとから具体化する。このため、まず組合員に決起を求め、校区ごとに、校区ごとのCO患者・遺族の会の活動を、社会党、社青同、大牟田・荒尾の両地評及び傘下組合との交流を積極化し、それぞれ地域の要求を具体的に押し起し、校区連協の組織化を援助する。

### 固い春闘への決意

#### 物価メーデー機に動き活発

「消費者米価をはじめ、水道料金、各種公共料金、諸物価値上げ反対」「勤務所得税を中心とする大幅減税」「低家賃、公営住宅の大量建設」「生活を守る大幅賃上げ」「生活保護基準の二倍引き上げ、失対労務者の賃金を現行に四百円値上げせよ」「年金、健保、共済保険料の引き上げ反対、社会保険の拡充」などのスローガンのもとに、去月二十五日世林公園で開催された「二・二五物価メーデー」(正称は、物価値上げ反対、大幅賃上げ獲得大牟田地区大集会)は、労働者を中心にほぼ万人を集集し、事実上春闘への出

ば処分」と、まさに暴力的です。新労組員はいうまでもなく、平の係員も含め、私たち三池炭鉱労働者は「坑内にさがるか、第二会社へゆかか。黙って殺されるか、生きるために立って闘うか」の決意をせまらねばなりません。(本所支部一分会の職場新聞「一分会ニュース」から)

強化、労働条件の引き下げを目的とする第四次合理化攻撃が加えられようとしており、また各産業、自治体などでもようやく合理化攻撃がはげしさを加えてきています。CO闘争のもつ階級的意義はますます重大性を増してきた。なか、CO患者(三池労組員のみ)の現況は、次の通りである。長期療養給付者 一一八 経過観察者 四六八

### 利潤第一、労働強化

#### 政府・日経連の虫のよい政策

国民の総生産は世界三位であるのに、国民所得は世界二十一位という事実が、このことを如実にものがたっているといえるでしょう。附加価値(もうけ)の分配率についても、欧米では五〇・六〇%であるのに、わが国の場合には三〇%であるように、労働分配率も低下してきているのです。成長産業の主要企業では、政府の長期経済計画と結んで、それが

れ長期経済計画を設定し、自由化を背景とする国際競争力の強化を口実に、資本系列別に、あらたな合理化体制の完成をめざす方向が急速にすすんでいます。とくに最近の合理化投資とそれによる労働、ZD運動、作業分析、ZD運動、要員の削減などは、慣行的な労働を、理論的な最高限にまで高めようとするものです。そのために労働強化は極限に達し、利潤第一主義による生産性の増大は、新しい質の職業病を発生させ、労働災害の激増をよぶこととは明らかです。

坑内復帰訓練者 二八八 坑外配賦訓練者 二〇八 打ち切りを拒否して治療継続者 八三八